

「藤女子大学家庭科教育研修講座」（第 17・18 回）を終えて

2015 年 7 月 25 日（土）および 2016 年 7 月 31 日（日）、本学人間生活学部人間生活学科主催「藤女子大学家庭科教育研修講座」が、花川校舎を会場に開催されました。第 17 回目と 18 回目になる講座には、道内の中・高等学校の家庭科教諭のほか、学部学生、大学院生、教職員が参加しました。当日のプログラムの詳細は資料の通りです。

第 17 回の講座では、前半に長尾順子氏（本学人間生活学科講師）による「数字からみる衣生活にかかる負担」をテーマとした衣生活領域の講座が行われました。参加者は、洗濯にかかる消費電力量、使用水量、必要な洗剤の価格の計算を通して、環境に配慮した衣生活について考えました。また後半の講座では、飯村しのぶ氏（本学人間生活学科教授）と菱村佳子氏（本学大学院人間生活学研究科 院生）による「家庭科・福祉科教育の課題と交流」をテーマとした実践報告と、参加者による意見交換が行われました。

第 18 回の講座では、前半に筆者による、「小麦粉と牛乳に含まれるたんぱく質に関する実験」をテーマとした食領域の実習・実験内容に関する講座が行われました。参加者は、まず、小麦粉から「グルテン」というたんぱく質を取り出し、パンの膨らみや麺類の弾力性について考えました。次に、牛乳とレモン汁を用いてカッテージチーズを作ることにより、牛乳のたんぱく質の性質を確認しました。後半は、飯村しのぶ氏による「《家庭科》生活時間の学びから見えてくるもの」をテーマとした生活経営領域の講座が行われました。参加者は、生活時間調査法とエネルギー消費算出について実践し、家庭科において生活課題を捉えるための授業方法について考えました。その後、参加者による授業実践の報告や、実践上の課題に関する活発な意見交換も行われました。また、将来教員を目指す本学の学生に対して多くの助言をいただきました。

本研修講座を実施するにあたり、藤の実会より支援金をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げますとともに、今後もこの講座が現場で活躍する教員と本学学生の貴重な研修の場となるよう、取り組んでいきたいと考えています。



[第 18 回講座の様子]

岡崎 由佳子（藤女子大学人間生活学部）

第17回藤女子大学家庭科教育研修講座開催要項

1. 開催期日 2015年 7月25日(土) 13:00~16:40
2. 会場 藤女子大学人間生活学部(花川キャンパス 石狩市花川南4条5丁目 0133743111)
3. 主催 藤女子大学人間生活学部人間生活学科
4. 参加者 小学校・中学校・高等学校・大学の家庭科教育関係者, 大学院生, 関心のある方
5. 講座内容

時 間	講 座 内 容
12:30~13:00	受 付 (271教室)
13:00~13:10	1. 開講式 開講の挨拶 人間生活学科主任 内田 博
13:10~14:40	2. 講座(1) 「数字からみる衣生活にかかる負担」 講 師 長尾 順子 (藤女子大学人間生活学部人間生活学科 講師 被服学) 主 旨: 今求められる「持続可能な循環型社会の実現を目指すために実践的な態度を養う」の課題に対して本講座では、数字を通じて、環境に配慮し、かつ自身に合った衣生活とは何かを考えていきます。(計算機(電卓)をご持参下さい)
14:40~14:50	<< 休 憩 ・ 準 備 >>
14:50~16:20	3. 講座(2) 「家庭科・福祉科教育の課題と交流」 世話人 飯村 しのぶ (藤女子大学人間生活学部人間生活学科 教授 生活経営論) 報告者1 菱村 佳子 (家庭科教諭, 藤女子大学大学院人間生活学研究科 大学院生) 報告者2 神保 光希 (福祉科教諭, 藤女子大学大学院人間生活学研究科 大学院生) 主 旨: 家庭科・福祉科教育の現状と課題について、本学の大学院で学んでいる家庭科・福祉科教員による報告を行います。また、日頃の教育現場における疑問や悩み、成果等について参加者との交流を行います。
16:25~16:40	4. 閉講式 閉講の挨拶 人間生活学科主任 内田 博

第18回藤女子大学家庭科教育研修講座開催要項

1. 開催期日 2016年 7月31日(日) 13:00~16:40
2. 会場 藤女子大学人間生活学部(花川キャンパス 石狩市花川南4条5丁目 0133743111)
3. 主催 藤女子大学人間生活学部人間生活学科
4. 参加者 小学校・中学校・高等学校・大学の家庭科教育関係者, 大学院生, 関心のある方
5. 講座内容

時 間	講 座 内 容
12:30~13:00	受 付 (348教室)
13:00~13:10	1. 開講式 開講の挨拶 人間生活学科主任 内田 博
13:10~14:40	2. 講座(1) 「小麦粉と牛乳に含まれるたんぱく質に関する実験」 講 師 岡 崎 由佳子 (藤女子大学人間生活学部人間生活学科 准教授 食物学) 主 旨: 小麦粉に含まれる「グルテン」というたんぱく質を取り出し, うどんやパスタ等の弾力性について考えます。また, 牛乳から「カゼイン」というたんぱく質を分離して, カッテージチーズを作ります。 (エプロンをご持参下さい)
14:40~14:50	<< 休 憩 ・ 準 備 >>
14:50~16:20	3. 講座(2) 「《家庭科》生活時間の学びから見えてくるもの」 講 師 飯 村 し の ぶ (藤女子大学人間生活学部人間生活学科 教授 生活経営論) 主 旨: 生活時間は他教科にはない家庭科独自の生活課題を捉える分析軸です。生活行動に要する時間量や時間帯を調べることを通して, ライフステージと生活時間, ワーク・ライフ・バランス, 親子関係など様々な課題を発見することができます。今回は, 生活時間調査法とエネルギー消費量算出について実践してみましよう。
16:25~16:40	4. 閉講式 閉講の挨拶 人間生活学科主任 内田 博